

日本福祉介護情報学会ニュース

2008年度第2号

2008年9月25日

発行：日本福祉介護情報学会（<http://jissi.jp>）

埼玉県新座市北野1-2-26 立教大学コミュニティ福祉学部 森本研究室内 jissi-mail@e-wel.ne.jp

【目次】

1.	第9回研究大会のご案内	1
2.	学習会報告	3
3.	紀要第5号・第6号について	4
4.	事務局から	4
	(編集後記)	4

1. 第9回研究大会のご案内

日本福祉介護情報学会 第9回研究大会 事務局
(北翔大学) 林 恭裕

■大会趣旨

日本福祉介護情報学会研究大会も第9回を迎え、今年度は学会設立以降初めて本州を離れ、北海道で行うことになりました。周知の通り北海道は、その面積の広大さ、地形や産業構造の特性から、情報通信の必要性が強く求められてきており、そうした事情に応じた数々の情報化の実践が行われてきたことは、広く知られているところです。

一方、地域福祉の時代にあって、生活の場は、在宅か施設かの二者択一的な選択から、在宅と施設の双方向性の確保、在宅でも無く施設でもないといった第3の住まい、というように非常に多様化、流動化しつつあります。その中で、そうした個々の地域生活を支援していく仕組みとして、介護保険制度では地域包括支援センターや居宅介護支援事業所が、障害者自立支援制度では地域生活支援センターなどの機関等が整備されつつありますが、福祉情報化は、その基盤となるものが総合相談やチームケアを支えるツールであるといえます。さらに、地域で生活する利用者・当事者への情報支援として、NPO等を中心とする取り組みも各地でみられるようになってきています。北海道は、こうした取り組みにおいても、これまで先駆的な役割を果たしてきました。

そこで、今年度の研究大会では、福祉サービス利用者・当事者に対する具体的な生活支援としての情報支援の取り組みについて焦点をあて、地域福祉の目標である地域生活支援を推進していくための福祉情報化について研究協議を行うこととしました。

晩秋の北海道は、季節も食べ物も、1年のうちで最も過ごしやすい時期のひとつです。関係者や関心を持つ多くの方々の積極的な参加を期待しています。

■大会次第

大会テーマ：「当事者・利用者の生活支援としての福祉情報化」

会場：北翔大学

〒069-8511 北海道江別市文京台23番地

〈連絡先〉 電話 011-387-37211 ・ FAX 011-387-3721

E-mail: yhayashi@hokusho-u.ac.jp

会期:2008年11月9日(日) 午前10時～午後5時30分

09:30～ 受付開始

10:00～12:00 **自由研究発表**

12:45～13:15 **学会総会**

13:30～13:40 **開会挨拶**

13:40～14:20 **基調報告** 林 恭裕氏(北翔大学)

「北海道における福祉情報化の取り組み」

14:30～17:30 **シンポジウム**

テーマ 「北海道における当事者・利用者の生活支援としての福祉情報化の取り組み」

シンポジスト・札幌チャレンジド(ITを活用した在宅障害者支援)

・能登 肇氏(特別養護老人ホーム北園啓生園・情報共有のための独自システムの開発と運用)

・栗山町(福祉情報化の取り組みと利用者支援)(調整中)

・富良野市社会福祉協議会(Lモード)を利用した一人暮らし高齢者情報支援)

コーディネータ: 林 恭裕氏(北翔大学)

コメンテーター: 森本 佳樹氏(立教大学)

17:30～ 懇親会

■自由研究発表の申し込み

自由研究発表を希望される本学会会員は、以下の要領でお申し込みください。

(1) 1件の自由研究発表の報告時間は、発表20分間、質疑10分間の計30分間です。

※今大会では発表会場として2会場が使用可能なため、最大8件までの発表が可能です。

(2) 発表資格:本学会会員に限ります。

※共同研究発表者も含めて会員である必要があります。

発表を希望される非会員の方は、**11月5日(水)必着**にて会員申込手続きを済ませてください。入会申し込み用紙を学会ホームページより入手し、大会事務局までご送付ください。日本福祉介護情報学会ホームページ <http://jissi.jp> (トップページより「入会案内」をクリック)

(3) 申込方法:発表希望者は、後日送付する要綱にある「自由研究発表申込用紙」に必要事項を記入の上、**10月17日(金)**までに大会事務局までお申送ください。

(4) 「要旨」の提出:自由研究発表要旨は、所定の書式にてA4版2枚以内(図表を含む)で作成し、**10月31日(金)**までに大会事務局まで送付してください(お送り頂いたものを、そのまま製版いたします)。なお、印刷データは電子データにて jissi-isl@umin.net にも併せてお送り頂けると助かります(※電子データでの送信が可能であれば)。

(5) 使用できる機材:PCとプロジェクタを使った発表の場合、WindowsXPとPowerPoint2003がインストール済みのノートパソコンを会場に用意しています。読み込み可能メディアは標準でFD、CD、DVD、その他USBタイプの外部記憶装置等も利用可能です。また、PCをお持ち込みになる場合は、D-sub15ピンのVGA外部出力を持ったPCが必要となります。なお、インターネットなどネットワーク環境は原則として使用できません(※万一必要な場合は、大会事務局までE-mailにてご相談ください)。

※他の機器(OHP)などが必要な場合は、大会事務局までE-mailにてご相談ください。

■参加費

① 会員(一般) 2,000円 ② 会員(学生) 1,000円

③ 非会員(一般) 6,000円 ④ 非会員(学生) 1,000円

⑤ 北翔大学在学学生 無料(※資料費別)

※法人会員は2名まで2,000円、3名目からは6,000円となります。

※当日会員申込をした場合も、暫定会員として会員と同じ参加費になります。

※当日、受付にてお支払ください。事前の振り込みなどは受け付けておりません。

■昼食(予約制での弁当販売)

大会当日は予約制でのお弁当販売を予定しています。大会参加申し込みと併せてお申し込みください。1,000円を予定しています。飲み物は学内に自動販売機が設置されております。

※大学周辺にも若干ですが、食事ができるところがあります。

■懇親会

- (1) 会場 北翔大学前 つば八文京台店
- (2) 費用 4,000円(フリードリンク制) ※学生は3,000円
- (3) 参加申込 必ず事前の参加申込を行ってください。

※19時過ぎのJR(快速エアポート)に乗車して新千歳空港に行く場合は、羽田行きの20時台最終便には間に合いません。

■宿泊

宿泊、列車・飛行機チケット等についての斡旋は行っていません。

宿泊の場合、JR北海道の新札幌駅周辺が便利です。ホテルとしては、新札幌駅近くのシェラトンホテルと新札幌駅直結のオークホテルがあります。新札幌駅から大学までは、JRバスの路線バスが利用でき、所要時間は15分から20分です。

なお、札幌市中心部の地下鉄大通り駅から、地下鉄東西線で新さっぽろ駅までは約30分です。

■交通の便

新千歳空港からこられる方は、JR北海道の快速エアポートに乗車されて、新札幌駅で下車してください。駅と直結しているバスターミナルの10番・11番乗り場で「江別行き」か循環バス「新札幌駅行き」(いずれも国道12号線経由)のJR北海道バスに乗車されて、北翔大学・札幌学院大学前で下車し、徒歩3分で会場に着きます。バスの所要時間は15分から20分程度です。

新札幌駅からタクシーを利用される場合は、「北翔大学」と言って乗車されますと10分程度で正門に着きます。料金は千円強です。

■大会参加申し込み

Eメール(yhayashi@hokusho-u.ac.jp)もしくはハガキ・ファクシミリに必要事項をご記入の上、大会事務局までお申し込み下さい。

- ①氏名 ②所属 ③連絡先(郵便番号・住所・電話) ④E-mailアドレス :
- ⑤お弁当予約(要/不要) ⑥懇親会出席(有/無) :

■連絡先

本研究大会に関する連絡はすべて大会事務局まで原則としてE-mailにてお願い致します

大会事務局：〒069-8511

北海道江別市文京台23番地

北翔大学 林研究室(日本福祉介護情報学会 第9回研究大会事務局)

FAX 011-387-3721 E-mail: yhayashi@hokusho-u.ac.jp

詳細は、9月下旬に送付を予定しております「日本福祉介護情報学会 第9回研究大会開催要綱」をご覧ください。

2. 学習会報告

日本福祉介護情報学会理事・事務局
(株式会社 日立製作所) 前田 みゆき

2008年度第2回の学習会は、「続 IT政策と社会保障カード(仮称)」をテーマに、2008年9月7日(日)13:30~16:30、東京都社会福祉協議会会議室にて、約50名の参加者を得て開催されました。

これはテーマ名が示すとおり2008年3月に開催した学習会の続編です。昨年から今年にかけて本格検討が始まっている「社会保障カード(仮称)」の動きに合わせて、学会として、その動向と政府での議論の状況を定期的にウオッチしていこうというもので、JAHIS(保健医療福祉情報システ

ム工業会)の協賛も得て進めています。

学習会は、高橋紘士学会代表理事の挨拶の後、内閣官房IT担当室主幹・衛藤嘉之氏が「IT政策ロードマップと重点計画-2008」と題して、IT政策ロードマップ及び重点計画-2008についてわかりやすく解説。その後、社会保障カード(仮称)とも関連のある「電子私書箱(仮称)」と、本学会にも関連の深い「介護ネットワーク」の概要についてさらに詳しく解説いただきました。

続いて、厚生労働省社会保障カード推進室室長補佐・大竹雄二氏が「社会保障カード(仮称)の検討状況について」と題して、社会保障カード(仮称)議論の経緯と大まかな仕組み、なぜ社会保障カード(仮称)なのかを説明いただいた後、社会保障カード(仮称)の議論のポイントについて、その論点と検討状況をひとつひとつわかりやすく解説いただきました。

各講義後の質疑では、システムの具体的な仕組みや利用方法等の質問から今後のスケジュールといった質問、さらには、ぜひとも今後の検討に加えて欲しい項目についてのコメント等、非常に多岐にわたって活発な議論が展開され、学習会終了後も、個別に講師に質問される長い列ができました。

社会保障カードについては、現在はまだ、論点について有識者にて議論を行っている状況で、必ずしも結論を得ているものではないこと、ある程度の結論は、今年度末になるであろうことから、今年度末に再度第3回の学習会を重ねていくことを言及し、第2回学習会は無事終了しました。

なお、学会では、本テーマ以外にも、会員の皆さんのニーズに応じて学習会を企画していく予定です。開催を希望されるテーマがありましたら、ぜひとも学会事務局までお知らせください。

3. 学会紀要 第5号・第6号について

日本福祉介護情報学会理事・紀要編集委員長
(関西学院大学) 生田 正幸

学会研究紀要「福祉情報研究」第5号は、第9回研究大会が開催される11月上旬頃にお手元にお届けする方向で作業を進めています。また、第6号については、例年通り1月末まで投稿論文の申込みを受け付ける予定ですので、ふるってご応募ください。

なお、すでにご承知かと思いますが、「福祉情報研究」は、投稿論文について査読制度を導入しています。当学会の査読制度においては、学会大会の自由研究発表について編集委員が審査を行い一次査読に代えるという仕組みを採っていますので、自由研究発表をされた会員各位はぜひご投稿ください。

近頃では、研究業績として査読審査された論文を求められることが多くなっています。この機会をご活用いただければ幸いです。

4. 事務局から

福祉介護情報学会事務局
(東京都社会福祉協議会) 須永 誠

■会員加入状況 (2008年9月7日現在)

個人会員 112名 / 学生会員 35名 / 法人会員 3法人 (登録4名)

■メールアドレスをご連絡ください。

先般開催いたしました学習会の直前、会員各位あてに「開催案内」のメールをいたしましたが、登録されたメールアドレスでは「不達」となってしまった方がおられました。心当たりの方、学会事務局まで、ご連絡メールをいただくと幸いです。

~~~~~

(編集後記) 本年度第2号のニュースレターをお届けさせていただきます。第9回研究大会の開催要綱は9月下旬にお手元に届ける予定ですので、あわせてご覧ください。晩秋(初冬?)の北海道で皆さまにおめにかかるとを楽しみにしております。(岩手県立大学) 小川 晃子